

第 32 回宮城母性衛生学会プログラム

日時：平成 23 年 10 月 30 日（日） 9:00～17:00

会場：仙台市医師会館

会長：山田 雅明（仙台赤十字病院新生児科部長）

受付開始 8:30～

会長挨拶 9:00～9:10

一般講演 9:10～11:40（○印 演者 発表 7 分 討論 3 分）

★第 1 群（9:10～10:00）

座長 仙台赤十字病院 太田 恭子
仙台医療センター 池田 恵里香

1. 入院妊婦を対象とした母親学級の評価と課題

東北大学病院 東 6 病棟

○安西真弓 小野舞衣子 桂田かおり 大桐規子

2. マタニティビクスの精神面の効果

翔仁会 吉田レディースクリニック

○成田美奈子

3. マタニティ・ヨーガの出産体験に与える効果の検証 ―出産体験尺度の評価から―

仙台市立病院

○保谷知子

4. 妊婦の体重管理へのアプローチ

財団法人光ヶ丘スペルマン病院 III 病棟

○田中素子 中村明日香 佐藤雪路 高橋眞智子

5. 妊婦の食生活と体重増加の関連性について

仙台赤十字病院

○我妻裕海

休憩 10:05～10:10

★第 2 群（10:05～10:55）

座長 東北大学病院 秋山 志津子
東北公済病院 佐々木 広子

6. NICU における母乳育児支援の向上に向けて

～アンケート調査から支援体制を再検討する～

仙台赤十字病院総合周産期母子医療センター NICU

○佐藤容子 浦山郁子 川村啓子 山岸美智代 伊藤佑子

7. 母乳育児方針の用紙を導入して

坂総合病院 産科病棟

○笹井茉莉 榊紘子

8. 当院における産後のうつ傾向に関する実態調査

産後1ヶ月健診時 EPDS を用いて

S・S レディースクリニック

○佐藤理佳 内山牧子 佐藤啓美 橋本純子

清水健伸 佐藤信二

9. 当院の祖父母クラスの振り返りと今後の課題

独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター

○佐藤美由紀 山田さと子 松川花子 笹小夜子

10. 妊娠期から産褥期における父性意識の変化～夫立ち合い分娩を通して～

仙台赤十字病院

○佐々木郁恵

休憩 10:55～11:10

★第3群 (11:00～11:40)

座長 東北大学病院 北村 真理

仙台赤十字病院 太田 やよい

11. 妊産婦を取り巻く環境調査

新富谷 S・S レディースクリニック

○荒谷祐美 芳賀さゆり 瀬戸早苗 井戸川幸美

酒井安子 山中偉業 遠藤敦 佐藤信二

12. 大災害時における当院の危機管理と今後の課題

ー東日本大震災発生からライフライン復旧までー

いけの産婦人科小児科医院

○青山幸恵 池野暢子

13. 東日本大震災後、褥婦への電話訪問を実施して

坂総合病院

○若澤優子 千葉佳子

14. 塩竈地区母子保健推進ネットワークを立ち上げよう

ー東日本大震災、被災地における施設を超えた助産師・保健師の協同・連携体制の構築を目指すー

遠藤マタニティクリニック いけの産婦人科小児科医院

ウィメンズクリニック利府 松島病院 ナーシング助産院

坂総合病院

昼食・休憩 11:40～12:40

総会 12:40～12:50

教育講演 (12:50～14:30)

教育講演 1 (12:50～13:35)

「新生児蘇生法—Consensus 2010 に基づく—」

演者 仙台赤十字病院新生児科部長 山田 雅明

本講演はアップデート講習会を兼ねています。Consensus 2005 に基づく新生児蘇生法の認定証をお持ちの方は、本講演を聴くことでアップデートの資格が得られます。講演終了後にアップデートの証明シールをお渡ししますので、認定証（修了認定カード）を持参してください。

教育講演 2 (13:35～14:30)

「新生児医療から生まれた子育て支援」

座長 仙台赤十字病院新生児科部長 山田 雅明

演者 かわむらこどもクリニック 川村 和久

パネルディスカッション (14:30～16:50)

「東日本大震災による周産期医療への影響」

座長 松永女性クリニック 松永 弦
ズズキ記念病院 高橋 純子

「3.11 震災を振り返って～診療所の立場から～」

T's レディースクリニック 高橋 剛

「災害時の乳幼児栄養について」

仙台市立病院 渡邊 孝紀

「東日本大震災による周産期医療への影響」

桂高森 S・S レディースクリニック 千坂 泰

「宮城県の津波被災地における震災後 6 か月間の周産期予後解析」

東北大学産婦人科 菅原 準一

「東日本大震災時の周産期救急搬送の状況について」

東北大学病院 周産期救急搬送コーディネーター補佐 崔 佳苗実

16:55 閉会の挨拶

17:00 閉会